

六郷

～元気に輝いて～



令和6年度
第64号

2024.10.29

六郷小学校の前庭は、秋真っ盛りです！！

10月も今日を入れてあと3日となり、朝夕の冷え込みが感じられる季節となってきました。六郷小学校の前庭の木々も色づき始め、季節の移り変わりを感じます。

【2年図工「しぜんからのおくりもの」の授業から】

プール脇の通路沿いの花壇に、今年初めて「コキア」を植えました。2年生は、植え付けから今まで、そのコキアのお世話をしてくれました。コキアは、ぐんぐん育ち、今では2年生の背丈を超えるほどになりました。そして、秋になり、子どもたちが育てたコキアは、真っ赤に色づいています。



先週と昨日、そのコキアを使って、2年生は、図工の「しぜんからのおくりもの」という造形活動をしました。子どもたちは、目をつけたり、枯れ葉や枯れ枝で飾り付けたりすることで、自分たちが育てたコキアを变身させ、楽しむことができました。中には、前庭にある「かりんの実」をお供え(?)のように置くアイデアも。自然のものを生かして、今しかできない活動を満喫することができました。皆さんも、お時間がありましたら、見事に色づいたコキアをぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。



【銀杏の実が落ちる季節となりました！】

学校の校門横の銀杏も次第に色づいてきました。今年は、銀杏の実が豊作なようで、たくさんの実が落ちてきています。平成の中頃あたりまでは、グラウンドにあった銀杏の木と校門前の銀杏の木から落ちる銀杏の実を業者さんが拾いに来ていたことを思い出します。今では、銀杏の実を拾うこともなくなってしまいました。本来であれば、学校で活用したいところですが、処理に手が掛かるため、実施する予定はありません。もし、保護者の皆様方で、銀杏の実がほしい方がいらっしゃいましたら、どうぞご自由にお持ち帰りください。

